



2018年第5回理事会

厚生協会だより

2018年11月21日
第 352 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：平賀 秀法



専務理事
平賀 秀法

全職員の英知を
結集し進めていきま
しょう！

はじめに

「わたしたちは今どんな
状況に置かれているか

厚生省が9月に発表した2017年度の概算医療費は42.2兆円、前年比で2.3%増加しています。高額なC型肝炎ウイルス薬の使用量が減少した2016年度を除き、ここ数年医療費の伸び率は変わっていません。伸び率の内訳は、高齢化1.2%増、人口減少0.2%減、医療の高

度化1.3%増となっています。入院の延べ日数の伸び率が7年ぶりに増加に転じており、急性期病床の入院患者は減少する一方、高齢化により入院日数の長い療養病床などが増加しています。

また、C型肝炎ウイルス用薬が増加した時と同じように新たな抗がん剤などの高額医薬品も医療の高度化として大きく影響しています。これは、国内主要製薬企業27社の連結決算で純利益が1兆1370億円と13.7%も増加していることからも見取れます。

2018年の診療報酬改定は、本体部分は0.55%の引き上げとなったものの、材料はマイナス0.09%、特に薬価はマイナス1.65%と大幅に引き下げられ、全体でマイナス1.19%という改定です。

政府は、団塊の世代が75歳となる2025年度には医療費の膨張は避けられないとし、高齢者に負担を求めるなどの策を講じなければ、社会保障は立ち行かなくなるとの危機感を示し抜本的改革を迫っています。

4月からスタートした国保

の都道府県単位化は、運営主体を市町村から都道府県に移管し、給付が増えれば保険料が上がるという、医療費の増大と住民の保険料負担の関係をストレートに結び付けた仕組みです。介護分野でも「自立支援」に成果を挙げた自治体に交付金を支給する新たな制度がはじまっています。また、8月から現役並所得者の利用料を3割に引き上げ、10月からはケアプラン「適正化」による生活援助（訪問介護）の利用回数規制を導入しています。

診療報酬における社会保障の解体は病床の再編と削減です。入院医療から在宅への誘導、在宅での看取りの促進、かかりつけ医機能の推進、大病院外来への直接受診の選定療養費徴収範囲の拡大など、さまざまな医療費抑制施策に対応しなければなりません。同様に介護報酬では、中重度やリハビリ、連携などへの「重点化」が図られる一方で、生活援助の利用規制や通所介護の基本報酬の切り下げ、ケアマネジャーの管理・締めつけの強化をはじめとする「適正化」など、利用者・事業者双

方に新たな困難や制度矛盾を押しつけてきます。そして、2025年のプライマリ・バランスの黒字化をめざし、2019～21年度を「財政健全化」の「基盤強化期間」とし、社会保障のさらなる負担増・給付減の取り組みを通じ「全世代型の社会保障制度を構築する」とし2019年10月には消費税率が10%へ引き上げられます。わたしたちは、高齢化に伴う自然増の圧縮財源とした報酬の引き下げと、医療・介護の患者・利用者負担増が行われる環境下で事業運営を行わなければなりません。

2018年度上期決算の特徴

2018年度の事業収益は80億31百万円、前年実績から48百万円増加しましたが予算に対し66百万円とどいていません。外来と介護収益では予算を超えましたが、入院収益で大きく乖離しています。外来収益はここ数年一貫して減少傾向にあったことから一定の成果を得たとしつつも、実態は坂総合クリニックの化学療法センターや在宅診療の増加によるもので、高額医薬品費

や診療材料費の増加で相殺されています。外来の特徴は、殆どの事業所で患者数が減少していることです。特に診療所は収支結果に端的に表れています。入院収益では、坂総合病院の予算乖離額が全体の経常利益未達額に匹敵しています。新規入院や救急車受け入れ数は目標を上回っていますが、延べ患者数と日当円が予算にとどいていません。入院期間の指標であるDPCIⅡ割合の未達や手術症例の減少が影響しています。入院収益の予算乖離はここ数ヶ月一貫した傾向であり、原因分析に基づく具体的対策を打つことが急務となっています。

事業費用は78億91百万円とほぼ予算通りですが、材料費や委託費が超過しています。経常利益は1億54百万円（利益率1・9%）と予算に対し68百万円、対前年比でも56百万円不足する結果となっています。

財務状況は、純資産17億14百万円で期首より1億54百万円増加し、自己資本比率は13・6%です。負債総額は108億82百万円と1億58百万

円減少し、現預金残高も月商の1・3倍を確保しています。

下期の重点課題

下期は上期での予算乖離を取り戻さなければなりません。特に入院収益を確保するための施策を事業所ごとに具体的に進めることです。坂総合病院では入院医療を中心とした急性期医療を重視しますが、医師の働き方改革や常勤対策として、来年春を目途に内科一般外来の土曜診療を見直す方向で議論をすすめています。外来日当円は全事業所

で増加しているものの、患者数の減少に対して方針を明確にし、地域での立ち位置を定め、周辺の医療機関や福祉施設などと良好な関係を築き、地域で選ばれる事業体とならなくてはなりません。経営環境は益々厳しくなる中では費用管理が重要です。特に人件費、医薬品、医療材料の削減に努めなければなりません。財務上の懸念事項では、今年度の設備投資予算3億円うち上期執行は47百万円に止まっていることです。下期執行による影響を念頭に置かな

ければなりません。引き続き経営構造転換5カ年計画での重点課題に取り組んでいくこととなります。特に、新人事賃金制度導入に向けた職員説明の徹底と合意形成に力を注がなければなりません。同時に、2019年7月の稼働を目指し人事システムの導入準備に入ります。また、「働き方改革」としての、医師の長時間労働の改善や5日間の有休休暇取得の義務化への対応を進めることとなります。全職員の英知を結集し全力で取り組みましょう。

事業所別損益（2018年4月～9月）（単位:百万円）

	事業収益				経常利益		
	実績	予算/前年	増減		実績	予算/前年	増減
坂合計	4,514	4,547 4,494	▲33 20	68	135 164	▲67 ▲96	
長 町	1,254	1,270 1,265	▲16 ▲11	51	46 53	5 ▲2	
古 川	512	532 508	▲20 4	▲7	2 ▲19	▲9 12	
泉	747	760 750	▲13 ▲3	6	18 12	▲12 ▲6	
診療所合計	313	314 318	1 ▲5	4	0 1	4 3	
歯科合計	167	163 163	4 4	11	7 13	4 ▲2	
ケアST・包括	520	507 481	13 39	28	17 14	11 14	
事務局				▲15	▲5 ▲28	▲10 13	
協会合計		8,098 7,982	▲67 49	147	222 210	▲75 ▲63	

貸借対照表（単位:百万円）

科 目	実 績	期首有高	増減額
【流動資産】	4,542	4,285	257
(現金・預金)	1,793	1,634	159
(事業未収入金)	2,597	2,480	117
【固定資産】	8,054	8,315	▲261
【資産の部】	12,596	12,600	▲4

科 目	実 績	期首有高	増減額
【流動負債】	1,971	2,157	▲186
【固定負債】	8,910	8,882	28
【純資産の部】	1,715	1,560	155
(当期利益)	949	795	154
【負債・資産の部】	12,596	12,600	▲4

第31回大崎健康福祉友の会古川支部

病院駐車場で開催。記念講演は一番町法律事務所の小野寺義象弁護士が「平和とくらしを守るために、憲法9条と25条を活かしましょう」と題して話されました。戦争が9条を生み出し、9条が戦争を防いでいる。貧困が25条を生み出し、25条が貧困をなくすことであると語り、未来を切り開くのは私たちであり①考えること②行動すること③決してあきらめないこと、の大切さが語られました。舞台オープニングは古二小の二小ソーラン。続いて、栗原市在住の千葉夫妻による歌謡ショー。第二部の演芸発表は、会員・友の会有志の唄、踊りなど、参加者も一緒に楽しみました。十数年ぶりに古川工業高校ダンス部が踊りを披露。無料体験コーナーの頸動脈エコー、骨健康度測定、自己血糖測定、簡易物忘れ度チェックも多くの方が。ちびっこ薬剤師体験は家族での参加も目立ちました。絵手紙、健康吹き矢、ハン

9月16日
1100名超



講演する小野寺弁護士



古川工業ダンス部

友の会 健康まつり 各地域で大盛況!

第19回大崎健康福祉友の会加美支部

やくらい文化センターで開催。オープニングは多田川太鼓の皆さん。記念講演は加美公立病院在宅診療科医長の横山成邦医師が「加美郡における在宅診療の位置づけ」のテーマでお話されました。横山先生の日夜を分かたぬ診療のお話に来場者は感銘を受けたようです。特別出演は、翔彩綺羅さんと旭小学校の児童の皆さんの踊り。健康チェックコーナーは、骨健康度測定や頸動脈エコー体験に行列ができました。バザーコーナーも大盛況。ケアステーションあゆみの「すいとん」は今年も好評で完売。午後は、大正琴加美教室の皆さんの音色で始まり、フラダンス、踊り、太極拳、歌、3日体操などが披露され、会場から拍手喝采がありました。特別出演の「ザ・スリーグラス」による懐メロ演奏等が披露されました。参加者の顔が生き生きと輝き、満足しながら帰路につきました。

9月30日
500名超



「ザ・スリーグラス」の演奏



猪股町長が健康チェックコーナーに

第22回泉病院友の会

賀茂神社大駐車場を会場に風対策をして開催しました。地元の子ども達による力強い長命太鼓の演奏で幕を開け、友の会の方々による民謡、舞踊、マジック、オカリナ演奏など多彩な演目が披露されました。中でも宮城県指定無形民俗文化財となっている泉区福岡の鹿踊・剣舞と泉館山高等学校吹奏楽部の楽しく元気な演奏に会場は大いに盛り上がりしました。さらにスペシャルゲストとして戦争反対・護憲・反原発・沖縄辺野古基地建設反対などの運動をされているシンガーソングライター川口真由美さんが熱唱してくれました。模擬店では、健康まつり名物の芋煮やイワナの塩焼きなどがお昼前に完売し賑わいました。参加していただいた方々に感謝申し上げます。

10月7日
900名超



川口真由美さんが熱唱



子ども達の力強い長命太鼓

第17回若林健康友の会

若林区の六郷市民センターで開催しました。オーブニングは地元小学生のチアガール、切れのいい元氣いっぱいのかわいい踊りです。舞台では、サークル発表で生き生き教室の方々の手話と歌と踊り、そして地元の方々の腹話術やフラダンス。医療コーナーは、骨密度測定、健康相談、ハンドマッサージ、子どもたちが薬剤師体験をしました。子どもコーナーは、今年はじめて水戸部先生考案の「人力発電 試してみよう」が加わり、電気を作る面白さを体験し好評でした。昨年から始めた「ゆったりサロンコーナー」では、麻雀など約16のサークルが日頃の活動を紹介しました。午後は地元の東高校吹奏楽部による演奏が体育館いっぱいに鳴り響き、若いエネルギーが溢れ拍手喝采でした。最後の「お楽しみ抽選会」は地元の新米2kgや若林クリニック賞、つばさ薬局賞にあちこちで歓声や笑顔が見られ、今年のお祭りも大盛況でした。

10月7日
300名



薬剤師体験



東高校の吹奏楽

第24回仙台錦町診療所健康友の会

診療所近くのパレス宮城野会館で開催されました。第一部は、つばさ薬局上杉店薬局長の藤本さんが「正しい薬の飲みかた」というテーマでお話しました。薬局で患者さんからよく聞かれる質問は、薬の飲み忘れ、飲み合わせ副作用、健康食品、サプリメント、インフルエンザとその薬に関してなどだそうです。健康コーナーでは骨密度測定が好評でした。友の会コーナーでは各種署名や友の会活動の説明をしました。作品展示コーナーでは、力作の写真、リース、絵手紙、草履、植木や、珍品として古い秤や鍵などが展示されました。第二部は演芸大会。歌謡曲、フラダンス、オカリナ演奏、クラリネット演奏でうっとりしました。診療所の出し物はジャンケン大会。勝った方に景品を差し上げました。また、全員で「里の秋」と「紅葉」を合唱しました。最後の抽選会は、景品がたくさんで、殆どの方が当たりました。

10月13日
約100名



会場風景



ジャンケン大会

第13回大崎健康福祉友の会遠田支部

本小牛田コミュニティセンターで開催。開会式では、美里町副町長より挨拶をいただきました。また、涌谷町長よりメッセージをいただきました。記念講演は「筋力アップを生活の中で」と題して、ケアステーションあゆみりハビリチームによる講話と実践。参加者は、真剣な眼差しで聞き入り多くの方が実例に対し「そうだそうだ」とうなずかれ、ロコモ防止のトレーニング実践は大変参考になったようです。特別出演は、涌谷中学校有志による「白山豊年神楽・獅子舞」が披露され、伝統芸能を披露する生徒たちに拍手喝采。模擬店も大賑わい。サークル「108手打ちそば」の皆さんによるそばの実演販売もありました。午後は会員さんの演芸発表。2年ぶりに実行委員会メンバーによる寸劇「白雪姫と7人の大人たち」が披露され、会場を笑いと感動の渦で包みこみました。健康チェックコーナーも大盛況。展示コーナーも素晴らしい作品に彩られ多くの方が見入っていました。

10月14日
450名



ロコモ防止体操



白山豊年神楽・獅子舞

第27回仙台南健康友の会

「澄み渡った秋晴れの下」、
とはなりませんでしたが、
長町4丁目蛸薬師境内を中
心に開催され、終日にぎわ
いました。オープニングは、

10月14日
約1100名



盛り上がる会場



仙台南高校合唱団

恒例の地元長町中学校の吹奏楽演奏。勇壮な太鼓、友の会ブロックの出し物、子どもフラダンスと続きました。日本合唱コンクールの宮城県大会で見事金賞に輝いた仙台南高校合唱団が今回初出場。素晴らしい歌声で会場を魅了し、最後の「わせねでや」では涙をぬぐう人も。Dr.平野井の華麗なるマジックショーは会場を沸かせました。会場にはお子さんの姿が目立ちました。5歳のお子さん連れで初めて参加したというママさんは、「こんなに楽しいお祭りだとは思いませんでした。」と感想を話してくれました。会場のあちこちに笑顔の花が咲いた秋の一日でした。

第40回みやぎ東部健康福祉友の会

少し肌寒い天候の下、坂
総合病院、駐車場、クリニッ
ク1号館を会場に開催され
ました。中央ステージのオー
プニングはほうねん座の祝
いの太鼓。そして、トランペット演奏、金
管楽器演奏、チアダンス、民謡、友の会踊
りサークルを中心に来場者も加わり「よし
この塩竈」や「友の会音頭」など元気に踊
りました。模擬店やフリーマーケットも大
盛況。病院では健康チェックコーナーやち
びっこ広場、こども薬剤師体験、そして、
医師講演会（片平敦子医師、諸沢樹医師、
盛口佳宏医師）が行なわれ、参加されたみ
なさんは熱心に聴き入っていました。クリ
ニック1号館8階では、マジック体験、童
謡をうたう会、太極拳や踊りがあり、絵手
紙や書道、お茶を楽しむ会など体験コー
ナーにも多くの方が参集しました。今回は
宮城県看護協会と仙塩総合病院からの参加
もありました。

10月14日
約750名



みんなで元気に踊りました



チャームなチアダンス

第20回くらはら健康福祉友の会

晴天にも恵まれ300人
以上の方々に参加していた
きました。オープニング
のスコップ三味線に皆さん
大喜び、唄あり踊りありの
演芸に盛り上がりました。今年の職員の出
し物は『獅子舞』。皆さんの健康を祈願し、
あたまをパクリ！そのほか展示品も日々
の趣味の発表の場として力作揃いとなりま
した。健康チェックでは頸動脈エコー体験
コーナーを設け約60人の方に喜んでいただ
き、恒例のおにぎりや豚汁も足りないかも
：とうれしい悲鳴に。皆さんのご協力のお
かげで、無事に20回目の健康まつりを終え
ることができました。

10月28日
300名超

職員による獅子舞



スコップ三味線



さわやかエッセイ

和太鼓が大好き!! 和太鼓の魅力に 引き込まれた!!

ケアステーションつくし
介護福祉士

瀬川 裕子

叩き始めて16年

私は和太鼓が大好きです。和太鼓の魅力に引き込まれ、叩き始めて16年になります。

末の子どもが幼稚園に入園し自分の時間が出来、何か趣味が欲しいなあと思い軽い気持ちで始めたら、なんと太鼓の「ドンドン!!」という音にほれ込んでしまい一生懸命練習しました。

練習を重ねるごとに自分がどんどん上手くなっていくのを体感し、自分が叩く太鼓の音に感動を覚えるのでした。「和太鼓の音ってやっぱり良い!!」、胸の奥に響いてくる。自分の心臓と一緒に鼓動するのです。太鼓に合わせて速くなる。高まる。激しくなる。自然と体でリズムをとっていたりして、気持ちが高ぶっているのがわかるのです。

演奏後の達成感は最高

初ステージの演奏での緊張感は半端じゃなかった。なので、演奏後の達成感は最高でした。友人からも「格好良かったよ!!」と褒めていただき、「よっしゃー!!」と太鼓が増々好きになりました。

太鼓は誰でも叩けば音が出る打楽器なので、叩くと振動とともに音が返ってきて、身体全体で感じます。またダイエット効果もあり、全身を使って姿勢をキープしたまま打ち続けるので、体幹が鍛えられ、腹筋・背筋・ウエストの引き締め効果もありそうです。全身運動なのできっと健康にも良いはずです。

音階がなく、あるのは強弱だけ。音符が読めなくても鍵盤が弾けなくても太鼓は叩けます。ストレス解消にもなっています。

感動してもらえる演奏したい

自分は、訪問系の仕事柄、日々たくさんの方々とはふれあい、いろんなドラマに遭遇します。人生の諸先輩方からたくさんの事を学ばされています。その方々との関わりが自分の太鼓への音に重ねて叩いています。もっともっと練習して太鼓の音の強弱だけで、聞く方々に感動してもらえる演奏をしたいと思います。

一緒に太鼓を叩いてみませんか!! 気持ちいいですよ!! どうぞご連絡ください。

